

(様式3)

事業所名 グループホームハピネス

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「その方の生きてきた人生をたいせつに」を理念とし運営してきたが、全職員が把握し理念に基づいた支援を実践出来ているかは自信が持てていない状況である。	全職員が理念を即座に答えられるよう、さらなる周知をし、理念を基にした支援を提案できる。	朝礼時に理念を唱和する。 ミーティングにて理念に基づいた活動やイベント、支援方法について話し合う。 ミーティングにて話し合った事柄を実践していく。	6ヶ月
2	2	地域の方々との関わりは持てており、介護施設としての理解は頂けているが、具体的な地域の方々への貢献がまだ行えていない。	地域での介護施設、グループホームへのニーズを把握し、地域へ貢献できるような活動を行う。	運営推進会議にて働きかけオレンジカフェを開催し、介護保険法や認知症に関する話を行える場を設け、地域との交流を図る。	12ヶ月
3	12	スタッフ同士の声掛け、連携がとれていないことがあり、安全でスムーズな業務に支障が出ている。	スタッフ同士連携がスムーズに取れ、声の掛け合いを行い、誰が現在なんの業務を行なっているか、どんな業務が終わっていないか、ご入居者の状態がどうか等を常に把握できるようにしていく。	業務や対応を行う際、必ず声をかけ、自分の所在や対応中の業務をその場にいるスタッフに周知していく。 入居者の対応のい変更や、新規の情報を話し合った際、即座に周知していく。 どんな時に声掛けができず連携が取れていないか原因について話し合う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月